

労働安全衛生委員会報告

平成29年10月14日 議事録

社長挨拶

問題が起きる前に予防・防衛する努力。今後どのようなようにすれば事故が起きないかの工夫を部署内で共有して欲しい。「即効即止」安全のための取り組みは直ちにいい、危険と思われればすぐにやめる。この心がけを忘れないで欲しい。ここに集まる、委員会の皆さんのリーダーシップに期待しています。

MR C(真也社長)

夜間作業(収集運搬時)右方車飛び出してきた。徐行していたので衝突せずに済んだ。左折レーンから合図も出さずに突然直進レーンに出てきた。10t車両がPETボトルを踏みつけ、フタが飛び跳ねるに当たりかけた。5W1Hの記録をしつかりとするように。

環境マークティング部

重機の動く路面の清掃を行う。ゴングの使用を勧めること。無謀運転トラックに遭遇。事故に巻き込まれないように車間距離を保つこと。

環境エンジニアリング部

前を走るタクシーが道路に飛び出して来た鹿をはねた。大きな事故にはならなかったが、車間距離を空けていなければ追突する可能性があった。動物注意の標識にも注意が必要。

環境エンジニアリング部

選別ライン上の絡まった廃棄物を取り除く際に、引つ張つ

たら絡まった物が飛散した。選別ライン上の異物除去については、ベルトを停止させる。注意事項については掲示物で注意を促し、重要な事項については確認のために書面に残し、確認すべき人にはサインをもらう。完全周知徹底をお願いしたい。

環境ロジスティクス部

信号待ちの際に後ろから来た軽自動車に追突される。ドライバーは通院中。

ヒヤリハット報告

バックで回収現場に入つて行った時に、足場の悪いぬかるみの地面にタイヤを取られかけた。現場の路面状況を確認してから車両入場するように心がける。

機密文書裁断事業

8月26日フォークリフトが半開きのシャッターへ接触する事故が発生。フォークリフト入退場時にはシャッターは全開にする事。

阿野さん

KCC構内全員への周知徹底を行う事(注意喚起の貼り出しを行うこと)

大谷祖廟清掃事業部

お墓参りに来ていた人が階段で転倒した。近くを歩く時には日頃から注意しておきたい。注意を促したい(看板の設置・杖の用意・ベンチの設置など当社として協力できる事は行

きたい) ○環境エンジニアリング部運搬担当 京丹波ウエスの車両入場の際に木が張り出している。裁断の準備を行っている。

ハートメディカル事業部

並走車両が急に自分の走行レーンに入ってきた。荷台からの転落事故

環境システム部

前方を走るトラックが倉庫に後退しているときに、接触する事故が発生。その他のヒヤリハット

江蔵顧問

過失割合の考え方は、保険代理店へ伝えること。環境システム部の事故。運転の癖を自覚してもらうように指導する。乗務停止よりしっかりと指導をしていきたい。

阿野さん

隣地に消防車の出動して来た。火災報知器の誤作動だった。消防署から嚴重注意を受けたようだった。

阿野さん

停電時の電気錠の鍵方法を確認しておくこと。今週末の台風に備える。警報等の対応を検討すること。

データから見る産業廃棄物の現状

廃棄物の内訳

近年、環境汚染、最終処分地残余年問題、不法投棄問題など私たち環境ビジネスを取り巻く状況は決して楽観視できるものではありません。今回は日本全体の産業廃棄物の現状を知り、私たちがすべきこと、守るべきことを改めて考えていきたいと思います。

国内の産業廃棄物排出量は平成26年度の時点で393百万トンであり、前年度から約8百万トン増加しています。一般的にゴミは減ってきている、と思われたいですが実は平成24年から2年連続で増加しています。

その内訳をみてみると、①電気・ガス・水道などライフラインに関する業種が全体の25.7%。②農業・林業と③建設業が共に同20.8%。次いで④紙・紙加工・パルプ業が同8.3%。⑤鉄鋼業が同7.3%となっており、この5業種で全排出量の8割以上を占めています。



最終処分量は激減している

また品目別では①汚泥が全体の43.0%と最も高く、次いで②動物の糞尿が同20.7%、③がれき類が同16.4%となっており、この3品目で全体の8割を占めています。

廃棄物の総排出量は増加しているとはいえず、悲観するばかりではありません。実は①再生利用量が210百万トンで全体の53%に上ります。次いで②減量化量が173百万トン(同44%)で、③最終処分量は10百万トン(同3%)となっています。20年前と比較すると、総排出量は394百万トンでほぼ同数ですが、当時の最終処分量は69百万トンとなっており、実に17もの減量に成功しているのです。

現在最も大きな問題の1つとなっている、最終処分場残余年数問題。平成25年時点での残余容量は171百万トンで、残余年数は14.7年とされています。現在の日本国内の最終処分場は、現状の最終処分量のままだと単純に15年以内には廃棄物の最終処分ができなくなってしまうのです。日本は島国であり、国土を豊富に有しているわけではなく、また近隣住民からの反発も必至となるため、簡単に最終処分場を作ることもできません。ゴミを処分する場所がなくなる、ということは、想像以上に危機的状況だということなのです。

非常事態宣言

トライエス活動が4年目に入り間もなくですが、各自周知されている通り、再び非常事態宣言が発令された。9月に入り車両事故と作業中の怪我が発生しています。車両事故は、状況によっては重大事故になりかねない状況でした。事故は、自分が起こすものではなく、こちらの意思に関わらず、向こうから突然やってくるものもあることを、再度思い出しただきたいと思えます。運転中は常に選択の連続です。このときに、少しでもリスクがある方を選べる。早さではなく安全を選択していきたいきましょう。



10月1日 発行
〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町196-1
TEL 075-603-5500(代)
FAX 075-623-5511
http://yamamoto-hd.jp
◆発行:(株)ヤマモトホールディングス

10月号
2017 No.45

CONTENTS

- 1 データから見る産業廃棄物の現状
- 2 みつばち通信
みつばプロジェクト探蜜祭
山本智也海外視察報告
JICA、KCC本社視察
10月のお誕生日
今月のピックアップブログ
- 3 インフォメーションコーナー
お客様紹介
営業車が納品されました
F.MotonariのFortune telling
編集後記
- 4 労働安全衛生委員会報告
安全対策チェック
5S+1の徹底
事故ゼロ記録日数

許可業者数の推移

平成26年時点で、産業廃棄物処理業の許可件数は22.2万件となっています。そのうち、94%(20.8万件)が収集運搬で、6%(1.4万件)が処分業の許可です。私たちヤマモトホールディングスは、日本全国で6%である産業廃棄物処分の許可を保有しているということになります。収集運搬業の許可は、現在業界再編だと言われています。事実、平成22年から23年の1年間に、収集運搬の許可が約30%も減少しました。これには様々な要因がありますが、明確なのは現在許可を得ている業者に求められる役割や品質はより高いものになっていくということです。許可業は守られていると同様に果たすべき使命を確実に実行しなければならぬということに常に意識していきましょう。

不法投棄問題

不法投棄の新規判明件数はピーク時の平成10年代前半に比べ、大幅に減少しています。不法投棄量も減少傾向にありましたが、平成27年に大規模な事案が3件発覚し、前年の2.9万トンから16.6万トンと激増しています。この事件の本質は、発覚していない同規模の不法投棄がまだある可能性が高いということです。こうした犯罪は業界のイメージの低下や法令の厳格化につながります。1社1社、一人ひとりが許可の意味を理解し日々取り組んでいかなければなりません。

事故を未然に防ぐための心得七箇条

- 一、指差し確認を実践しよう
- 二、恥ずかしがらずに大声で確認
- 三、装備の乱れは心の乱れ
- 四、急がば回れ!余裕を持って行動しよう
- 五、機材を清潔に保とう!
- 六、コミュニケーションをとろう!
- 七、ルールを守ろう!

安全第一

—全ては安全のために—
5S+1の徹底
セーフティー(安全)
(全てにおいて安全が優先する)
整理
(整理とは、いらぬものを捨てること)
整頓
(整頓とは、定物定置のこと)
清掃
(清掃とは、衛生的な環境に掃除すること)
清潔
(清潔とは、汚れが無く綺麗なこと)
躰(しつけ)
(躰とは、習慣として礼儀作法を身につけること)

労働災害事故ゼロ記録日数

毎日無事が一番です!
これからは頑張りましょう!
今日で
労災
無事故 **3310** 日です。
9月30日現在
この数字が皆さんの努力を表します。

器物損壊事故ゼロ記録日数

まだまだこれから!
どんどん積み重ねていきましょう!!
今日で
物損
無事故 **1109** 日です。
9月30日現在
一日一日頑張りましょう!

10月29日 ヤマモトホールディングス 経営計画発表会開催!!

本年もいよいよ経営計画発表会が目前に近づいてまいりました!これからの会社の目標を明確にし、社員一人一人の団結によりより一層ヤマモトホールディングスが飛躍していく為の重要なイベントです。本年、我が社でも沢山の成功や反省がありました。その内容を社員全員で共有することで、今年度も昨年以上に実りあるものにしていきたいと考えています。失敗も財産の一つと捉え、共有することで、社員一同、一丸となって再発を防ぐ対策をとることができ、また、対策の本質を知ることができ、また、来年もより良い社員総会にする為、みんな力を合わせ頑張りましょう!
昨年、平成28年度の経営計画発表会・労働安全衛生大会



お客様! いつもありがとうございます!!

お店または会社の名前と業種... 西澤様



創業大正8年... 今後の目標を一言



京のふるさと

インフォメーションコーナー

何度か告知している通り、いよいよ10月は経営計画発表会です。

10月社内行事カレンダー. Table with columns for days of the week and dates, listing various company events.

月間トピックス

- 10/12(木): 労働安全衛生委員会、課長・係長級会議
●10/19(木): 統括官会議
●10/26(木): トライエス活動ミーティング
●10/29(日): 平成29年度 経営計画発表会・労働安全衛生大会

みつばち通信 10月 第二期 採蜜祭



9月2日に第二期「京都みつばちプロジェクト」採蜜イベントを開催しました!

起業家養成スクール 山本智也海外視察報告



この度は起業家養成スクール研修の一環で、アメリカ・シリコンバレーに訪れました。

JICA 海外視察団来社



9月25日、国際協力機構「JICA」の海外視察団の皆さんが、当社KCC京都クリアセンターに見学にご来社されました。

掲載記事募集!! きれい創造新聞は随時皆様からの情報をお待ちしております。

営業車が納車されました. Advertisement for a company van with details on financing and features.

F.Motonari の Fortune telling. Numerology article with calculations and interpretations.

今月のピックアップブログ 『The Kyoto』. Blog post about a visit to Kyoto with photos.

10月のお誕生日. Birthday list for October with names and ages.